

①氏 名（ふりがな）	宅久 花子
②受験区分	政治・国際区分
③内定省庁	外務省
④併願先の 最終合格 試験種	東京都Ⅰ類Ｂ（行政／一般方式）、横浜市（事務）
⑤最終学歴 例）〇〇大学△△学部 在学中	宅久大学 教養学部
⑥受講コース 例）法律本科生	政治・国際本科生
⑦合格体験記タイトル（20文字程度）	日本人として日本のために尽くすこと

※上記の①～⑦の項目(青枠内)を漏れなくご記入ください。

●（国家総合職を目指した理由・キッカケ）外交官を目指して

幼少期をアメリカで過ごしたことから、将来は英語を活かせる仕事に就きたいと考えていました。大学で留学し、その留学先で様々な国の学生と交流する中で国際社会における日本の存在をより強く意識するようになると同時に日本人としての自覚が強くなりました。自分の経験を活かして、日本人として日本のために貢献したい、そう考えた時に思い描いたのが外交官という職業でした。外交を通じて日本の未来のために働きたい。そう思ったのが国家総合職を志望したきっかけでした。

● (TAC・W セミナーを選んだ理由・良かったところ) 実績と情報量、仲間との出会い

国家総合職に関する予備校を調べてみたところ、実績や情報量に関してWセミナーが一步秀でいると感じたこと、また内々定までのサポートが充実している点が決め手になったと思います。実際に入ってみると過去データの分析や受験突破のノウハウなど、個人だけでは知り得ない情報量に圧倒されました。さらに、同じ外務省志望者の仲間が見つけれられたこともモチベーションの維持や官庁訪問中の心の支えになりました。優秀な仲間から刺激を受け、官庁訪問対策を行う自主ゼミという場が設けられていたことも、内々定への大きな手助けになっていたと思います。質の高い模擬面接や自主ゼミでの省庁研究など、最後まで手厚いサポートに支えられたからこそ最終合格及び内々定にたどり着けたと思います。

●（所属校舎または講師のおすすめポイント）溝江講師のカウンセリングは定期的に受けましょう！

担任の溝江講師は親身になって面接や官庁訪問の相談に乗ってくれます。また、□□□□□□□□
■□□□□□□□■□□□□□□□■□□□□□□□■□□□□□□□■□□□□
□□□□■□□□□□□□■□□□□□□□■□□□□□□□■

● (教養試験対策) 取捨選択

基礎能力試験に関しては数的処理に最も力を入れ、どの科目よりも先に講義を見終え、問題集に取り組み始めました。その上で数的処理の中でも得意・苦手な分野を把握し、取れそうなところに注力し苦手なところに見切りをつけました。また、物理や化学などの自然科学科目は講義を受けて軽く目を通す程度にとどめ、代わりに人文科学に時間を割くようにしました。文章理解は得意だったこともあり、講義を受講すること以外には時間をかけず、模試並びに本試験では満点を目指すようにしていました。

● (専門試験対策) 時間との闘い

専門試験では、必須となる比重の重い政治学と国際関係を中心的に学習し始めました。この二科目を優先的に進めつつ選択科目で何を選択するか決めたのですが、専門試験対策を始めた時期が遅かったこともあり最初から必要最低限の科目を選びその科目を集中的に習得し、保険はかける余裕がありませんでした。専門試験は全科目を同時期かつ短期間で受講することになり負担は大きかったですが、何度も見直す時間はあまりなかったので一度勉強したことをなるべく忘れないよう努力しました。二次試験の論文記述は一次試験の択一の知識をベースに、
□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□
□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■

● (面接・官庁訪問対策) 本番さながらの模擬面接と官庁訪問対策

二次試験の人物試験に関しては、Wセミナーで模擬面接を二度ほど受けました。本番さながらの形式で面接をした後に、姿勢や言葉遣いから内容面まで細かく改善点等を指摘していただけます。複数回受けることができるので、前回指摘されて修正した点が次の模擬面接で実際に改善されているかを確認することができるのもよかったですと思います。面接で武器になるのが皆さんご自身の経験です。今まで自分がどのような道を歩んできたのか、そこで何を得たのか。面接でその想いを全力でぶつけられるように自分の過去をしっかりと見つめ直してみてください。

官庁訪問に関しては、
□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□
□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■
□□□□□□□□■□□□□□□□□■□□□□□□□□■

● (これから受験する人へアドバイス) 強い意志を持って

国家総合職試験は長く、険しい道のりです。最終合格の先には官庁訪問が待ち構えており、内々定をもらうまでは一瞬たりとも気が抜けません。その中で皆さんに大事にしてほしいのが強い意志です。勉強や官庁訪問で疲れて辛くなった時には今一度なぜ自分が国家総合職を志望したのか、将来何を成し遂げたいかを思い出してください、その意志が背中を押してくれるはずです。

Wセミナーでは多くの仲間と出会えると思います。その仲間と過ごした時間が官庁訪問での自信と安心につながります。かけがえのない仲間と共に励ましあって内々定にむけて切磋琢磨してください。最後まで諦めずに、自分を信じて頑張ってください！応援しています。

● (合格ドキュメント)

2021 年 7 月	留学から帰国し、国家総合職受験を決意
8 月	TAC・W セミナーで受講開始
9 月	人文科学などの知識科目に取り組み始めるも、あまり捗らない。
2022 年 1 月	年末の気のゆるみで生じた遅れを取り戻すべく政治学や国際関係など専門の主要科目の択一講義を受け始める。 ・ ・ ・ ・ ・
7 月	官庁訪問。外務省から内々定をいただく。周りの人達の祝福の声に涙。